

市民との意見交換会(文教委員会) 記録

## 「部活動の地域移行について」

### 日時・開催場所

---

2024年1月28日(日) 14:00~15:40 女性総合センター5階 第2学習室

### 参加者

---

議会：わたなべ忠司、瀬順弘、永元香子、中山ひと美、山本みちよ、山本洋輔

市民：子育て世帯、部活顧問経験者、部活動に関心を寄せる方など、6名

### いただいた意見、質問

---

#### 【地域移行についての質問】

- ・地域移行のイメージがわからない。
- ・外部委託にならないのか。
- ・地域移行に向けての主体はどこが担うのか。
- ・顧問は活動内容はもう関知しなくなるのか。

#### 【現行の部活動や学校に対する問題意識、課題意識】

- ・部活動のない競技や活動は内申点に影響はあるのか。
- ・部活動のない競技や活動についての居場所は何かあるのか。
- ・法律上、教員に残業命令を出せず、できるのはお願い。建前としては自由時間を潰して携わされているという現状をもっと広く知られるべき。
- ・顧問が異動になり、次のなり手がいなければ廃部になってしまう。
- ・文化部は発表の機会が少ない。
- ・メンタルを患う教員も後を絶たず、教員の大量欠員が全国的に問題になっている。

#### 【費用や場所などの制約や課題】

- ・部費はどうなるのか(上がるのか)。地域移行した場合、備品はどうするのか。(市の備品を使えるのか。土日や休日等、場所が異なる場合、学校所有の物を使えるのか等)
- ・備品の運搬(殊に楽器など大きなもの)において活動場所は課題ではないか。
- ・費用面では例えば既に楽器店が音楽大学と連携し、文化庁の委託事業で指導をしているが、この費用も決して小さくない。運動部の備品は自己負担が多い。

### 【指導者の確保や課題】

- ・指導者を確保できるのか、課題ではないか。
- ・指導員は地元で確保できるのが良いが、発掘は課題ではないか。
- ・部活や生徒が指導者に期待するレベルや指導内容と、実際に指導者が抱えている指導内容の想定とのすり合わせが必要ではないか。
- ・現在は体育大学等から外部指導員が来ているが、自身も選手なので、大会の都合で休日に携われない場合もある。どういう人が教えてくれるのかが不明確。確保は簡単ではない。

### 【教員の負担軽減への懸念や課題】

- ・教員の勤務時間がどこにも資料に載っておらず、懸念している。(中学は休憩時間や勤務時間外に携わっている)
- ・教職員の声や意見を聞く機会を設けて欲しい。
- ・部活動は顧問がいないと成立しない。コーチも楽しめるだろうが、コーチのやりがいや楽しさを抱ける側面だけはコーチに。顧問としての責務だけは学校に押し付けるという構図のように思えてしまう。
- ・顧問がいて専門のコーチがついても、責任や対応を取る役割があり、結局職員室に詰めることになり、負担軽減には繋がらないのではないか。

### 【意見交換会の在り方への意見】

- ・今回の意見交換会のフィードバックはどうなるのか。
- ・年1回の開催では議論が深まらない。また回数も参加者も増やしてほしい。
- ・もっと多くの方からも色々な意見を聞けることが有意義だと感じている。
- ・議員と関われる機会が、大変楽しく議論できた。

### 【その他】

- ・地域移行をする際の生徒さんはどう思っているのか。通わせていた立場からすると、子ども目線が落ちているように感じ、残念に感じた。
- ・地域移行についての学校からの反応が鈍い。
- ・生徒もコーチも満足感の抱けるものにする必要がある。
- ・外部スポーツとのすみわけはどうなっているのか。
- ・部活の意義として人間形成はあるが、成果主義とのギャップ。
- ・これまでは各家庭事情を把握した指導の在り方もあったが、今後は技術的な指導になってしまい、そうした側面は考慮されないのではないか。